

事後評価調書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道設置）				
地区名	一般県道 <small>こうみょうじきそがわていしやじょうせん</small> 光明寺木曾川停車場線				
事業箇所	<small>いちのみやしきそがわちやうくるだ</small> 一宮市木曾川町黒田地内				
事業のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、JR木曾川駅と一般県道里小牧北方江南線を結ぶ路線であり、一般国道 22 号、東海北陸自動車道の側道と交差する地域幹線道路である。 当該区間は、本路線を通過して一般国道 22 号へ流入する通過交通量が多いにも関わらず、歩道幅員が狭小であるため、歩行者にとって危険な状況となっていた。 そのため、本事業で歩道を整備することにより、歩行者の安全を確保したものである。 				
事業目標	【達成（主要）目標】 ① 歩行者の安全確保 【副次目標】 -				
事業費	事業費		内訳		
	0.45 億円		■工事費 0.40 億円、■用補費 0.01 億円、■その他 0.04 億円		
事業期間	採択年度	平成 20 年度	着工年度	平成 20 年度	完成年度 平成 24 年度
事業内容	歩道設置工 L=199m				
II 評価					
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】 ・歩道が整備されたことにより、歩行者と自動車の通行が分離され、安全に通行できるようになり危険な交通環境が改善された。 【達成状況に対する評価】 ・本事業の整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、目標は達成された。			
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 - 【達成状況に対する評価】 -			
III 対応方針					
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。				
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。				
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。				